



～理念～ 誰もが皆、自分らしく生きる為に、支え合う地域づくりを目指します

No.214

〔編集・発行〕社会福祉法人 小海町社会福祉協議会 / 〒384-1103 長野県南佐久郡小海町大字豊里805番地 TEL. 92-4107(代) FAX. 92-2457



# 小海町社会福祉協議会設立50周年 地域活動支援センター開所30周年

節目の年となりました  
—お支えいただいた全ての皆様に心より感謝を申し上げます—

小海町社会福祉協議会

会長 嶋田 一正

小海町社会福祉協議会は昭和49年9月に設立されました。昭和49年の日本はそれまで続いた高度経済成長の様々な矛盾とひずみが表面化した時代でありました。高度経済成長時代の「消費は美德」から「節約こそ美德」に国民の意識にも変化が生じ、高度経済成長から低成長時代に移る「曲がり角」の年でもありました。

このような時代背景の中、小海町社会福祉協議会が設立され、当時の北牧産業会館を小海町福祉会館とし、そこを活動の拠点として、高齢者中心の介護、生活支援等を行う家庭奉仕員派遣事業と児童館の運営を開始いたしました。

事業開始直後には多くの紆余曲折があったことと思いますが、社協設立時の社会福祉活動の理念であった「物と心の調和のとれた温かい福祉社

会をつくり、他人の喜びを自分の喜びに出来る思いやりの精神と皆の善意により、路上にも茶の間にも福祉をもたらすこと」を活動の基本とし、町民の皆様及び関係者の皆様のご理解とご協力を頂きながら、社会福祉サービスの充実に取り組んでまいりました。

次に地域活動支援センター「ひまわり」は平成6年4月に開所されました。当時、障がいを持った方々のために作業所をつくろうと、多くの関係機関の皆様が協議と準備を重ね、就労に必要な作業訓練と日中活動の場として、小海町共同作業所「ひまわり」が開所されました。

これまでの30年間、様々な変化がありました。幸せとは「仕事をもち、収入を得て、苦楽を感じながら、家族・友人・大切な人と共に人生を送る。たとえ一人であっても、日々の暮らしが幸せだと感じられる。又、自分の存在価値が誰かの役に立っていると感ぜられる」そのような視点を持つて、作業を提供して下さる企業の皆様及び町からのご支援を頂きながら、職員と利用者の垣根を取っ払って、日々支え合いながら活動してまいりました。

さて、小海町社協設立から50年、社会、経済の変化や新型コロナウイルス感染症拡大等により、地域の福祉課題は多様化、複雑化し、様々な制度によって行われる社会福祉事業だけでは解決出来ない、制度の狭間となる福祉課題が顕在化してまいりました。地域福祉・介護保険・障がい者支援の3事業が小海町社協の柱であります。制度の狭間となる様々な課題に対処するた

め、新規事業にも積極的に取り組んでいます。小海町社協の理念は「誰もが皆自分らしく生きるために支え合う地域づくりを目指す」であります。職員一同時代の変化にあらがうことなく、常に「何が出来るのか」「何をなすべきなのか」を模索しつつ、福祉課題に真摯に向き合い、町民の皆様に信頼され、親しまれる社協でありますよう一丸となつて努力を続け、小海町の住民福祉の向上に貢献してまいります。結びになりますが、「小海町社会福祉協議会」「地域活動支援センターひまわり」をお支え頂いた全ての皆様にあらためて心より感謝申し上げますとともに、これからも末永いご支援を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

# 小海町社会福祉協議会設立50周年 記念事業開催 地域活動支援センター開所30周年

11月17日(日) 小海町社会福祉協議会設立50周年・地域活動支援センター開所30周年記念事業が小海町総合センターにおいて、ご来賓の方々をはじめ多くの町民の方の出席により、節目の年となる記念事業が盛大に開催されました。

## 地域活動支援センター開所30周年 記念事業



黒澤町長もギターを！

記念行事として、川崎昭仁さんによるトーク & ライブを約1時間半ほど開催しました。川崎さんは、幼少の頃、原因不明の発熱により手足が麻痺し以後車イスでの生活を余儀なくされておりますが、自分自身の体の事や今まで生きてきた中での出来事を話題にトークと迫力のあるギター演奏を披露されました。

川崎さんの生き方は、障がいがあるとか無いとかではなく、一人の人間として自分の与えられた環境や状況の中で精一杯にこの瞬間を生きる事が大切で、その事に対して周りの人に関わっていただき今の自分があると話されました。

笑顔の中にも人としての本当の強さがあると実感しました。まさにこのことが、小海町社会福祉協議会の理念に合致する記念行事にふさわしい時間でありました。参加された多くの方々も同じ思いを感じられたのではないのでしょうか。

最後に、地域活動支援センターひまわりの利用者さんと職員による、テーマソングと唱歌「ふるさと」を手話を交えて披露し記念事業を終了しました。

小海町社会福祉協議会は、これからも福祉サービスを必要としている方々に寄り添い業務を遂行して参りますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。



ひまわり通所者と職員による手話で「ふるさと」を披露



# 法人会員の皆様 社協会費を納入いただきありがとうございました

**法人会員 29件 総額 445,000円**

法人会員の皆様から貴重な社協会費を納入頂きました。地域福祉事業等に役立たせていただき、誰もが皆安心安全な地域づくりを目指し、食事サービス事業、介護予防事業、障がい者の余暇活動などに活用させていただきます。

令和6年度 法人会員会費納入実績

R6.12.10現在

会社名	会社名
内田孔建設(株)	山口自動車販売(有)
(有)カクナン	(有)陸大
(株)加藤商会	黒沢燃料(有)
(株)北原組	(同)新和オート
(株)黒澤組	(有)ツチハシ
(有)小海環境サービス	(有)土橋工務店
特別養護老人ホームこうみの里	(有)中島観光
(株)サン・カーズ	(有)なかじま建築
(有)篠原製作所	(株)新津テレビ
(資)清水屋商店	南佐久中部森林組合
(株)シャトレゼリゾート八ヶ岳	(有)わたや
長野八ヶ岳農協 小海支所	(社)小海町開発公社
(株)新津組	小海郵便局
(株)みつわ	(株)八十二銀行小海支店
(株)ヤナショウ	

## きんろうかんしゃのひに



こうみほいくしょのえんじのみなさんが、やすらぎえんではたらくおじさんおばさんをおうえんに、すてきなぶれぜんとをもってきてくれました。

## 社会福祉協議会にご寄付をいただき、有難うございます

12月12日、社会福祉協議会にて、長野県労働金庫佐久支店運営委員会の皆さまより寄付金をいただき、贈呈式が行われました。この寄付金は、11月に行われた「ろうきんチャリティー親子ふれあい映画会」で集まった



お金で、全額を寄付していただきました。

地域福祉の為に大切に活かさせていただきます。



皆様からのご厚意に御礼申し上げます

黒澤 正江 様 (声谷)

井出 裕子 様 (東馬流)

古清水 義文 様 (馬流)

出浦 きよ子 様 (土村)

篠原 裕子 様 (本間)

小池 泉 様 (八那池)

**善意銀行御礼**  
(令和六年六月〜十一月)

# 希望の旅に行ってきました!



10月31日、11月1日の1泊2日で  
昼神温泉と岐阜県の恵那市に行ってき  
ました。希望の旅とは障がいのために  
外出の機会の少ない方々、またその介  
護者を対象に行われ、観光を楽しみな  
がらの交流と心身のリフレッシュをし  
ていただく事業です。

1日目は馬籠宿・妻籠宿を散策しま  
した。中山道木曾路の風情ある町並み

には外国人の観光客も沢山いて、国際交流も楽しみました。散策後は昼神温泉の湯元ホテル阿智川  
で美味しい食事と素敵な温泉で一日の疲れを癒しまし  
た。

2日目は岐阜県の恵那峡へ行きクルーズ船に乗りま  
した。優雅なクルーズと秋の始まりを感じさせる景色  
に皆さん感動しておりました。最後に、上伊那にある  
信州里の菓工房へ行きました。可愛らしい和菓子や季  
節限定の栗きんとん等、魅力的な商品が沢山あり、皆  
さんお土産の買い物を楽しみました。初めて参加され  
た方もいて、交流の深まる楽しい旅になりました。



# 視察研修に行ってきました!

12月6日、小海町赤十字奉仕団視察研修で昨年に  
引続き「静岡県地震防災センター」へ行きました。

今回は、奉仕団員のほか社協ボランティアの皆さんにも参加していただきました。

静岡県地震防災センターでは、令和6年1月1日  
に発生した能登半島地震と同じ震度7の地震体験や  
日本各地で発生した豪雨災害における対策など学び  
ました。



大切なことは、発生したらまずは「自分  
の身は、自分で守ること」が大切であるこ  
と。

そして、日ごろから「地域のつながり」  
「避難訓練」「子どものころから災害避難  
体験教育」の必要性を実感しました。

午後は、日本平夢テラス展望台を見学し、  
太平洋に映える日本一の富士山を見ること  
ができました。雄大な富士山の様に平穏な  
生活が続けられることを願って帰路につ  
きました。